

おたより



錦町議会だより



2023.NO
145



一武別府の観音堂

目次

- ・第2回定例会 2～4
- ・一般質問一覧 5・6
- ・一般質問 7～13
- ・議会の動き／トピックス／軌跡 14

令和5年

第2回

定例会

追加予算 約7億4千万円を 可決

— 骨格予算の肉付け補正予算 — 少子化対策・子育て支援に注力

子宝祝い金・入学祝い金・ 修学旅行補助・給食費補助

令和5年第2回定例会は、6月12日から16日までの5日間の日程で行われ、令和5年度各会計補正予算4件のほか、条例改正等10件（議員発議1件含む）、人事案件1件、諮問1件、報告4件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

令和5年度の各会計補正予算は、初日に町長から所信表明と提案理由の説明があり、12日から14日の3日間、総務建設・厚生文教経済の2つの常任委員会による調査を経て、16日に質疑・採決を行い、いずれも原案のとおり可決した。補正の主な内容は、子宝祝い金交付事業、小中学生を対象とした入学祝い金交付事業、修学旅行補助、給食費補助事業などの子育て支援対策業等の他、非課税世帯を対象とした緊急支援給付金事業、農業・商工業振興のための担い手支援給付金事業、住宅リフォーム補助等の各種補助金やIP告知放送システム更新業務、役場庁舎改修事業、道路改修事業など政策的施策の肉付け予算。

令和5年度の各会計の予算総額は、98億8,335万9千円（うち一般会計予算69億3,293万1千円）となった。

なお、今回の一般質問には、新議員を含め7人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

① 錦町子宝祝い金支給条例

現行の祝い金支給条例が終了したため、今後も継続して事業を行うにあたり、新たに制定し直すもの

② 錦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び錦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

こども家庭庁の新設に伴う所管換えが行われたため、所要の改正を行うもの

③ 錦町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

県の制度改正に準じ、重度心身障がい者への医療費助成について自己負担の軽減を図るため改正するもの

④ 錦町川辺川土地改良事業基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例

改良事業に係る地元負担金が精算されることにより、今後、基金を活用する必要がなくなったため廃止するもの

⑤ 錦町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給要件を最大限確保することにより、議員の「なり手不足」解消の一助となることを踏まえ、国が取り決めを行う「統一地方選挙」の枠組みで実施されたために生じた任期満了日から選挙期日までの空白期間について、期末手当の算出基準に影響がないよう改正するもの（議員発議）

契約・その他

① 普通財産の無償貸付について

旧錦町農業就業改善センター2階（サテライトオフィス）及び土地の貸付

契約の相手方 東京都墨田区

横網1-10-5

レッドホースコーポレーション株式会社

② 林道志戸内線第1・2号箇所災害復旧工事請負契約について

契約金額 7千260万円

契約の相手方 錦町大字一武

2192番地33

株式会社 興陽建設

③ 町道山江錦線（木綿葉大橋）下部工補修補強工事（1期）請負変更契約について

契約金額

変更前 8千404万円

変更後 9千841万8633円

契約の相手方 人吉市西間上町

810番地1

三和建設株式会社

④ 町道路線の廃止について

⑤ 町道路線の認定について

下大鶴線（路線番号 40号）の改良に伴う廃止・認定手続きを行うもの

人事案件

監査委員の選任について

住所 錦町大字西1939番地2

氏名 宮田 弘

諮問

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

住所 錦町大字西2899番地4

氏名 徳田 由紀子

住所 錦町大字西737番地6

氏名 柳瀬 みどり

報告

① 令和4年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書

② 令和4年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

③ 令和4年度錦町一般会計事故繰越し繰越計算書

④ 和解及び損害賠償額の決定について

議場での呼称について

これまで本会議における議員の呼称については「〇〇君」・「〇〇さん」としていましたが、6月に行われた令和5年第2回定例会から「〇〇議員」とすることとしました。



主な少子化対策・子育て支援事業一覧（6月補正予算計上分）

事業名	内容など	
入学祝い金給付事業	小学校 20,000円 中学校 30,000円 (令和5年度入学児童生徒から対象)	新規
修学旅行費補助事業	小学校 保護者負担額の半額補助 中学校 //	新規
子宝祝い金給付事業	第1子 15万円 第2子 20万円 第3子以降 25万円	継続
学校給食費補助事業	小学校 全額補助 月 4,200円 中学校 全額補助 月 5,000円 ※給食費は11ヶ月分/年 うち3ヶ月分は当初予算に計上済	継続

少子化対策・子育て支援事業に対する声

6月補正予算計上分について、子育て世代の皆さんの感想は…

7月12日、保健センターで「子育てサークル」に参加されていた保護者の方々にインタビューしましたので、紹介します。



入学祝い金給付事業

- ・素直にうれしい。
- ・続けていただきたい。
- ・入学準備金の一部として大変助かる。等

修学旅行費補助事業

- ・中学校は費用が高くなるので、非常に助かる。
- ・お小遣いもしっかり準備できる。等

子宝祝い金事業、 学校給食費補助事業

- ・錦町に住む理由は、他町村に比べて子育て支援が充実しているから。
- ・給食費補助も非常に助かる。家計負担も軽減できる。等

その他…

「子育てサポーター制度を導入してほしい」・「室内で遊べる施設（入館料等が有料でも可）を開設してほしい」・「くらんど公園に低学年用遊具を設置し、さらに監視員も配置してほしい」・「(感染症対策などを踏まえた) オンラインでの授業を実施してほしい」等の要望がありました。

突然の取材依頼でしたが、快くご対応いただき、貴重なご意見をいただきました。皆さま、ご協力ありがとうございました。

第2回定例会一般質問事項一覧①

議員名	質問事項	質問の要旨
岡田議員 (P7)	学校給食事業の現在の課題と問題点について	① 現在、給食費は無償化されている。今後はどうなる？ ② 給食費（食材費）は、無償化されてもその他の事業費は増えるのでは。 ③ 出来る限り地産地消を行うべきだが、問題点は。
	大鶴遊泳場周辺の現状と今後の利用計画について	① 周辺には2ヶ所の農業用水取入口があるが、復旧状況は。 ② 地域住民のいこいの場であった遊泳場は、現在閉鎖されている。復旧計画はないのか。
	鳥獣害対策について	最近、特に鹿が多く目撃されている。町としての対応策は。
	自動車運転免許証返納者への町としての対応	今行っている対応策はどのようなものがあるのか。今後の計画は？
丸小野議員 (P8)	農業従事者の後継者について	町の主幹産業（農業）の後継者についての今後の施策や国全体としての施策について。
	地方移住者への取組み	錦町を選んで頂くために、どのようなアピールを行っているか。
	木上地区の木質バイオマス発電所近辺の構想	再生可能エネルギーやその他の構想（中長期）について。
梶原議員 (P9)	manifestoの基本理念の「老いても安心して暮らせる町」について	① 基本理念のこのフレーズに係る今までの具体的取組について。 ② 令和6年度からの第9期介護保険事業計画及び第6期総合計画・後期計画における取組予定について。
	人事評価と人材育成について	まちづくり（政策）とは、町長がストーリーを語り、職員はそれを“かたち”にすること。そのためには、職員のキャリアアップも必要だと思います。その手法として、行政版キャリアパスの検討を。
早田議員 (P10)	町長のmanifestoの中から	① 不妊治療、個人負担分の支援について。 ② シニアスポーツ支援について。 ③ 地元企業への就職者支援について。 ④ 企業と学校との連携について。 ⑤ 奨学金制度の見直しについて。 ⑥ 防犯カメラの増設について。
	産婦人科医院の誘致について	管内で産婦人科医院の誘致の動きがあるのか。
	教職員不足解消の為の提案について	教職員人材バンク制度の提案について。

※要旨…質問についての詳しい質問

第2回定例会一般質問事項一覧②

議員名	質問事項	質問の要旨
石松議員 (P11)	民生委員の役割となり手不足の課題について	① 民生委員の任用の仕組みと活動の状況は。 ② 民生委員の活動費はどのようになっているのか。 ③ 民生委員のなり手不足している現状を町としてはどのように考えているか。
	高齢者支援について	① 高齢者世帯の現状は。 ② 錦町乗り合いタクシーとタクシー料金助成の利用状況は。 ③ 電動カートへの助成の考えは。
	過去の質問のその後の対応と進捗状況は	① 小・中学校の女子トイレへの生理用品の設置について。 ② 深刻な物価高騰から農家を守る取り組みは。 ③ 子どもたちの通学路の安全確保について
吉田議員 (P12)	農業の振興と企業誘致について	① 煙草共同乾燥組合への電気代、燃油代、酪農家、畜産農家へのさらなる支援の考えは。(3月議会で質問) 再度の質問。 ② 栗の栽培面積拡大と6次産業化支援で鬼皮、渋皮剥機械補助は出来ないか。 ③ 木上地区への積極的な企業誘致の考えは。
	子育て世代支援と高齢者への支援について	① 学校給食費(給食無償化)の考えは。 ② 子供たちの国語力向上に図書館の新築の考えは。 ③ 遠距離通学の子供たちの為に通学路に時計とトイレの設置の考えは。 ④ 年金は減額、生活用品も上昇、高齢者も厳しいと聞く。支援の考えは。
	住民の安心安全と防災について	① 一武地区慰霊塔にトイレと街灯の設置は出来ないか。 ② 一武東方の町道速度超過の車両が多いと聞く。安全対策の考えは。 ③ 熊本県が整備した「大王原公園仮設団地」の今後について。
金山議員 (P13)	少子高齢化進行における財政運営について	① 一般及び特別会計への影響と財源確保について。 ② 財政調整基金及び特定目的基金について。
	交通安全対策について	① 町道松里線速度規制について。 ② 町道久保昭和線及び三丁指杉線の側溝改良について。

※要旨…質問についての詳しい質問

一般質問

今回は7人が登壇（要約掲載）

町政のことが聞きたい！

給食事業について

岡田 現在、無償化されている給食事業の今後は。

教育振興課 学校給食は、昨年10月から全額補助、無償化となり、6月補正において、今後の対応分として予算計上をしている。

岡田 学校給食法の中で、給食の食料費は、保護者負担となっており、その改正案が、3月29日の衆議院に提出されているが、具体的な実施時

期は決まっていない。それまでの財源は。

教育振興課 コロナ感染症対策として国から臨時給付金が支給された。その一部を給食費の無償化の財源としていた。今後は、ふるさと納税の中に、子育て支援対策という項目があり、活用させていただきたいと考えている。

岡田 学校給食は、地産地消を踏まえた上で、おいしくて、安心安全でなければならぬ。そのために、食材の生産者や納入業者、センターの職員や、調理師の方々の努力によって運営されている事業である。これからの、子供達のために、頑張ってください。

大鶴遊泳場周辺の現状について

岡田 遊泳場周辺には、2ヶ所の農業用水の取入口があるが、復旧状況は。

農林振興課 曲谷地区の復旧についてはゲートの修理、水路の浚渫を完了し、もう1か所についても、災害応急工事と、農地水で対応している。

岡田 工事は完了し、用水も復旧しているが、大量の土砂があり、今後の大雨で、すぐに埋まる可能性がある。

地域整備課 高柱川については、砂防指定地であり、県が浚渫を行うことになっている。曲谷については、錦町の方で行った。令和3年と4年で2千550万円ほどかかっており、令和5年度も予算化している。

岡田 遊泳場周辺は、農林振興課、地域整備課、企画観光課が担当しているが、キャンプブームも加わり、訪れる方もいる。安全面を考えると最低限の整備が必要ではないか。

企画観光課 何らかの整備を行う場合には、県知事の許可が必要となる。慎重に協議を進める。

鳥獣害対策について

岡田 最近、鹿の目撃情報が町内全域である。木上地区ではサルが問題視されている。いろいろな対策が講じられているが、防ぐだけではだめだ。このままでは、事故がおきる。駆除を行い、数を減らす以外に方法がない。

駆除隊も高齢化している。捕獲資格者の育成が急務である、異次元の対策が必要だ。

町長 町としても、年間1千2百万の補助金を出している。担当課に検討させる。



町内の有害鳥獣等

農業従事者の後継者問題



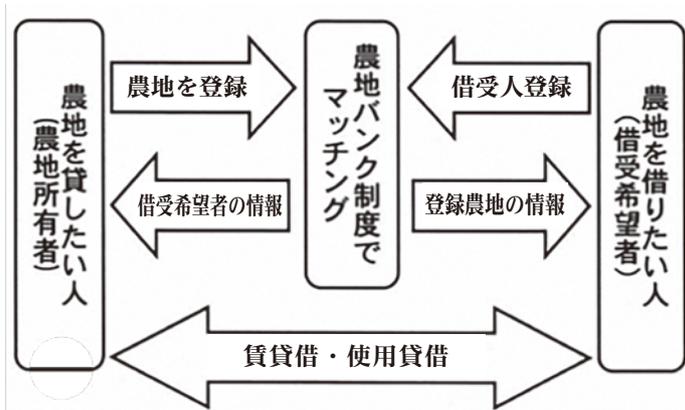
丸小野 聖一 議員

丸小野 町の主幹産業の農業の後継者問題について、今後の町の施策や国としての施策は。

農林振興課 農業従事者の高齢化と後継者不足などによる農業の衰退や、耕作放棄地の増加が懸念される中、新たな農業の担い手を確保するために、国及び地方において様々な施策が展開されている。いくつかの例をあげると、①まず新規就農者の就農初期の経営確立を支援するため、国の新規就農者給付金が平成24

年度にスタートし、錦町でもこれまでに35経営体、43の方が給付を受けている。また、国の制度に該当しない親元就農者への支援として町独自の給付金事業を平成30年からスタートしてこれまで18の方が受給されている。②県の取組として、令和3年に熊本農業経営支援センターが設立され様々な施策を行っている。③さらに県・市町村、農業団体等が出資して設立された農地バンクでは、農地の集積、集約化を行っている。④農地の保全としては、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度があり、耕作放棄地の発生防止に向けた取組を支援している。⑤農業経営基盤強化法の改正により、農業の在り方を明確化する、ひと農地プランが地域計画として法

定化され、農地1筆ごとに5年後、10年後に誰が担うのかを明確化した目標地図の作製や、多様な担い手の確保、農地の利用を行っていく区域と、努力してもなお利用が困難である農地の保全を進める区域の整備などを進めていく。



農地バンクの概要

地域移住の アピールについて

丸小野 地方移住の選択として、錦町を選んでいただけるためにどのようなアピールを行っているか。

企画観光課 令和2年度から改定されました総合戦略に基づき、移住・定住につながるための関係人口創出に向けた取組を実施している。令和3年度には、料理に焦点を当てたオンラインイベント、昨年10月には、本町と様々な形で関わりを持つ町外の方々との継続的につながりを持つよう、ふるさと住民票制度を導入し、5月末時点で106名の申し込みがある。この制度を継続していくことで、町の活性にも関わっていただくなど関係強化を目指していき、また、本町にゆかりのある方々と交流を行う「にしき会」で本年度、熊本市内、東京都内で行い、関係人口の増加を図りたいと考えていく。

マニフレストの「老いても安心して暮らせる町」をどう実現するか

梶原 基本理念のこのフレーズに係る具体的な取組は。

保険政策課 介護予防事業として、

元気が出る学校や元気クラブ等、地域においてはいきいきサロンや縁側事業に取り組んでいる。また、介護予防拠点施設として公民館新築及び改修を41か所実施している。一人暮らし高齢者等の見守りネットワーク構築、買い物支援事業、高齢者タクシー利用助成事業等実施している。



梶原 誠二 議員

梶原 多彩なメニューを展開されている

が、それらの評価を具体的な数値等で表現できる方法で検証されたい。次に、令和6年度からの第9期介護保険事業計画における取組予定は。

保険政策課 第9期介護保険事業計画

画においては、高齢化が住み慣れた地域で在宅での暮らしを継続できる「地域包括ケアシステム」の具体化がポイントだと思つう。

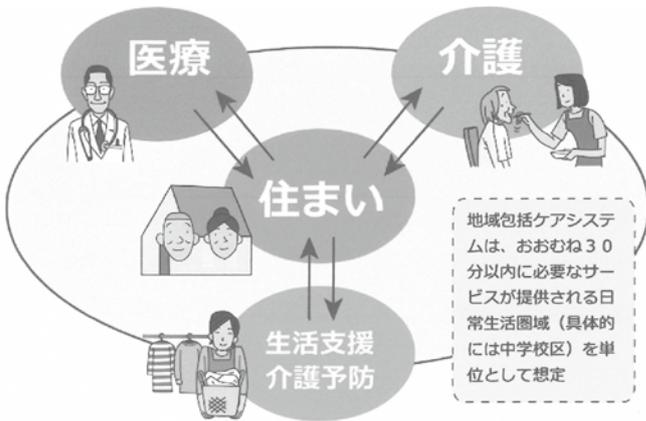
梶原 このシステムは、厚生労働省が

2025年を目的に構築を提唱しているもので、全国的に未だ実現できていない現状である。このシステムが完成すれば、高齢者は重度な要介護状態になつても、最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続できるというものであり、まさに、「老いても安心して暮らせる町」の実現だと思つう。計画期間中の具体的な構築をお願いしたい。このシステムの基盤となる「地

域包括支援センター」の機能強化のためのランチセンター（枝、支店という意味）設置を提案したい。

町長 第9期介護保険事業計画は、

2025年問題も含み、介護保険料増額も予想されるので、多くの皆様の意見を聞きながらしっかりとした計画を策定したい。提案のランチセンターについても検討を進めていきたい。



地域包括ケアシステムの姿

人事評価と人材育成について

梶原 まちづくり（政策）形成には、職員のキャリアアップも必要だと思つう。キャリアパス制度導入の検討を。

総務課長 現況の人事評価については、評価の適正化、評価者の平準化等課題がある。キャリアパス制度が職員のキャリアアップにつながり、町民へのサービス向上につながるということであれば参考にしたい。

梶原 一人ひとりの職員がキャリアアップしたら、職場全体もキャリアアップするので、キャリアパス制度の導入の前進きな検討をお願いしたい。



町長のマニフェストの中から 不妊治療、個人負担分支援は



早田 和彦 議員

ころもある。町単独では厳しいかと思うが、是非、先進医療部分についての助成を、国・県に働きかけていただきたい。

地元へ就職する方への支援について

早田 3月定例会において、就職率アップと若者の定着率を図るため、就職奨励金制度を提案させていただいた。マニフェストの中の支援策の内容は、どのようになるのか。



誘致企業

産婦人科医院の誘致について

早田 若者の定着率を図るに、避けて通れない問題は、産婦人科医院・産婦人科医師の確保があると思うが。

られるような制度設計に努めていく。

町長 今後については、しっかりと制度設計をつくり進めていこうと思う。ただ、財源を見つけていかなければならない。

健康増進課 今年に入り、産婦人科医師の確保に向けた活動が始まっている。人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会において、地域医療体制の充実を目的として、産婦人科医師確保の項目が追加、了承された。さらに、えびの市、伊佐市にも、医師確保の運動の取組みについて呼びかけがさなれ、協議会への参加となり、南九州中部地域医療連携協議会の設立総会を経て産科医師確保への取組みが始まっている。

教職員人材バンクの提案について

早田 教職員の人材バンクの制度を提案したいと考えるが。

教育長 私も県校長会へ同様の人材バンクを提案したところだ。内容は、学習、学校支援ボランティアも含めた人材バンクのような形で人材を広く募集できれば、多様な教育活動を個別指導の充実、教職員の負担軽減につながるのではないかと思う。

早田 個人負担分の助成とあるが、保険適用外についての助成なのか。
健康増進課 本町では、一般不妊治療、体外受精、顕微鏡受精費用の一部を助成している。いずれも保険適用の医療行為が助成対象となる。先進医療に係る助成は、少子化対策の一つの有効な支援事業と思うが、厳しい基準もあるので、国・県の取組みを見て判断させていただきたい。

早田 「小さな支えが大きな安心〇〇県」と、県全体で支援していると

企画観光課 3月定例会時に提案を受け、何らかの就職支援を講じることは、貴重な人材が管外へ出ていく割合を減らす効果が期待できると答弁をした。町長のマニフェストの中にも支援するとある。それを受け、現在、課内で支援の期間、支援の金額、要件等を精査し、より効果が得

民生委員のなり手不足の対策は

石松 民生委員の役割は、地域の人々の相談相手に加え、介護・子供の貧困・虐待・ひきこもり・単身高齢者の増加に伴う見守り活動など幅広い活動が求められている。今、民生委員のなり手不足が問題となっているが、活動費を含め対策は。

手不足の一因と考える。国への活動費予算の増額を要望し、町民の方にも協力を求めて住民福祉の向上に努める。

石松 町の補助金を活動費に充ていただき、地域福祉を推進し、民生委員の負担軽減を図るような環境づくりを望む。

電動カートの助成の考えは

住民福祉課 非常勤地方公務員として国費で1人6万200円、民生委員協議会に補助金として町より19万1千円補助している。しかし、活動に見合う活動費が支給されないなど、国の民生委員制度が時代の変化についていけないことがなり

石松 経済的負担の軽減と移動困難な町民の移動手段として、乗り合いタクシーや高齢者タクシー助成の事業に取り組まれている。今、国は、社会保障の安定に向け、健康寿命の延伸を促し、高齢者の就労・社会参加を進めている。社会参加することで認知症予防にもつながる電動カートの助成の考えは。

保険政策課 マイカーは日常生活に欠かせない。高齢者の運転免許証返納の促進と併せて、自宅にひきこもりがちになるのを防ぎ、社会参加をしてもらうためにもしっかりと検討していく。

通学路の安全確保は

石松 近年の車社会の変化に伴い、町道松里永野線の黒辺田野橋の改良及び道路拡幅の改良は、非常に緊急性が高いと考える。対応は。

地域整備課 有田牧場から黒辺田野橋を含めた国道219号までの永野工区については、地域住民の要望もあり、令和8年度までに橋梁架け替え及び道路拡幅を完了予定。

石松 JAスタンド横から馬場自転車前までの町道松里線の道路整備、合流部の変則T字交差点の改良の進捗状況は。

地域整備課 建物移転を伴う土地の交渉も順調に進んでおり、契約した

建物、工作物の移転解体終了後の令和6年度より改良工事に着手する予定。

たばこ農家への補助金活用支援は

石松 たばこ共同乾燥機組合の光熱費の支援を地方創生臨時交付金で対応は。

農林振興課 国や県において交付金が増額して措置しており、町でも農業者へ活用する予定。

※過去の質問のその後の対応。
石松 小中学校女子トイレへの生理用品の設置の対応は。



石松 まゆ子 議員



錦中女子トイレに設置された生理用品

子供たちの学力向上と集える施設を



吉田 眞二 議員

吉田 物価高による学習・教育支出に関するアンケート（チャンス・フォー・チルドレン）調査で「減らした」「今後減らす可能性がある」削減対象は、学習塾など学校外学習費、参考書や問題集、辞書の購入費とある。子供たちの国語力向上、子育て支援、教育の振興に複合施設的な図書館の建設の考えはないか。

教育振興課 複合施設的な図書館の建設に関しては、私も担当課としても検討している。図書館の利用者のみならず地域の住民の皆様が憩え

る場所としての集会所、学校へ行かない子供たちの居場所づくりとしての学習スペースや体験施設、親子連れでゆっくりとした時間を過ごせる居場所としてのこども館など、人吉球磨管内において、雨の日に子供を連れてゆっくりできるスペースがないことも過疎化の原因と考えられる。様々な目的に利用できる一体化した複合型の図書館として整備できないか検討している。

町長 全体的な図書に対するサービスは、十分できていると思う。今後どのように図書館をつくっていくかになる。しっかり検討していく必要がある。

吉田 子供が集まる、親子で集える場所、子供の居場所そして高齢者の方々も集える複合的な施設の建設をお願いしたい。

住民、子供たちを守る

吉田 一武東方の町道、速度超過の車両が多いと聞く。安全対策は。

総務課 朝夕の時間帯に制度速度超過の車両があると聞く。注意喚起の看板を県の公安委員会に要望したい。

地域整備課 舗装の色や素材を変えて立体に見せる路面標示（イメージハンブ）通学路、住宅地などの生活道路において既に採用されている自治体もある。経済性や効果を考慮しながら試験的な運用も含めて検討したい。

吉田 道路改良前に、金銭的にも安価で済むよう是非検討をお願いしたい。



立体に見える路面標示

災害はいつ起こるか わからない

吉田 災害はいつ起こるか予測がつかない。災害が発生した時にすぐに入居できる対策として、大王原公園仮説団地を数戸確保することはできないか。

地域整備課 意見も取り入れながら早い段階で活用案を策定していきたい。

吉田 災害に強い優しい町、安心して暮らせる町として是非検討をお願いしたい。

町長 災害時に使う住宅もいい考えであると思う。しっかりと取り入れていく。



少子高齢化進行における 財政運営は

金山 少子高齢化の進行により、町の人口は12年後には7千7百人まで減少すると予測されている。一般及び特別会計への影響予測と財源確保の対応は。

総務課 人口減少による税等の減少が見込まれる一方、社会保障費や医療介護費の増加、インフラ施設整備により厳しい財政運営が予想される財源確保については、受益者負担や税等の見直し、ふるさと納税増額や健康づくり及び介護予防の取組みによる費用抑止等が考えられる。

金山 ふるさと納税が貴重な財源となっている。増額を図るための返礼品の開発状況と国保税及び介護保険料等の改定の計画はあるか。

企画観光課 4月以降新たな返礼品を19品目追加し、更に委託会社と新商品開発に取り組んでいく。

総務課 国保税は毎年、介護保険料は3年に一度見直すことになっている。

金山 財政状況や健康づくり及び介護予防等に関する町政座談会を本年もできないか。

町長 令和4年度決算の実質単年度収支を踏まえ、国保税の改正を含めた座談会開催については検討する。

金山 財政調整基金が令和3年度末で16億円あるが、町民一人当りの額は人吉市を除いてどのような状況か。

総務課 管内9町村中、一人当たり15万4千円で下位から2番めである。

金山 今後の財政運営に備えるために積立金が必要と思うが。

総務課 財政調整基金の積立については現状維持を考えている。

町長 令和4年度に起債償還に充てる減債基金を5億2千4百万円積立て、大きなウエイトを占めるふるさと錦基金残高が、3億4千2百万となっている。

交通安全対策

金山 町道松里線は特に朝夕の交通量が多く又、錦中と西小の通学路になっている。安全対策のために交通速度を40キロから30キロに規制できないか。実状を把握され県公安委員会へ要望を。

総務課 区長や学校等関係機関と協議の場を設ける。

金山 町道久保昭和線及び三丁指杉線は大型店舗や医院等利用者の車等が増加している。落下事故防止等のため側溝改修ができないか。

地域整備課 久保昭和線は本年度側溝改修等の予算を計上している。残りの箇所も計画的に進める考えである。また、三丁指杉線の側溝改修も検討し、計画的に取り組む考えである。



金山 民幸 議員



町道松里線

議会のうごき

5月

- 11日 臨時議会（一般選挙後の初議会）
- 12日 レッドホースコーポレーション(株)立地協定締結式
定例郡議会議長会
- 14日 錦中体育大会
- 19日 ふるさと祭り実行委員会
- 21日 少年剣道大会
- 22日 例月出納検査（～23日）
人吉下球磨消防組合議会臨時会
- 23日 全国町村議会議長・副議長研修（～24日）
錦町商工会 令和5年度通常総会
- 26日 戦没者並びに産業自治功労者慰霊祭
- 28日 西小運動会
- 29日 国道219整備改良促進期成会
- 30日 人吉球磨広域行政組合議会臨時会

6月

- 1日 防犯協会連合会評議員会
- 2日 県町村議会議長研修・臨時総会
- 5日 議会運営委員会
全員協議会
- 7日 錦町防災会議
- 12日 議会定例会（～16日）
- 20日 例月出納検査（～21日）
- 21日 定例郡議会議長会
- 22日 錦まち観光協会総会
- 26日 県庁織月会
- 27日 水道事業決算審査（～28日）

議会改革の風が吹いている

全国町村議会議長・副議長研修会が、5月23日東京国際フォーラムで開催され参加してきました。

研修項目は①町村議会の課題と今後の展望②町村こそデジタルを③地方議会とハラスメントの3題であり、いづれも中身の濃い研修であった。その中の一つで「議員のなり手不足解消方策の誤解」項目では、議員報酬を増額すれば議員のなり手不足解消につながる道の一つだが、議員の活動量と内容を住民に十分説明しなければ批判を浴びることになる。又、無投票



のだから定数削減すれば、無投票にならないという思考は安易であり、定数削減は、当選ラインを引き上げ、立候補をしたい人ができなくなる負の連鎖を意識し議論するべきだという指摘内容であった。錦町議会も今後の課題として議論すべきものは熟慮し取り組まなければならないと感じた。

（文責 荒川 孝一）

軌跡

ようやく田植えも終わり、収穫まで水管理や畔草刈りなど忙しい日々を過ごすことになる。米価上昇を期待したいと考えていた矢先「遊水地計画」の説明会を開催すること。

計画によれば、球磨川を中心に、右岸側、左岸側を堤防で囲み、洪水時に水を貯め込み、下流域の流量を少なくする（河川水位を下げる）働きがあるとの説明。しかし、計画されている農地は、本町でも優良農地で知られており、地権者、耕作者の理解を得るのは、中々厳しいのでは、と感じた次第。

遊水地の建設については、用地買収（掘込）方式と地役権補償方式の2つの補償方式があり、事業用地を確保する方式がある。今回の説明会では、土地を有効活用しながら、広い面積を必要とする地役権補償方式になること。

この地役権とは、土地所有者が現在の土地利用を行いながら、さらに、河川管理者が「遊水地」として利用する権利を設定すること、と記載されている。今後も、説明会が続くと思われるが、現状では反対の声が多く出ているのが事実。

景観、風向き、高い堤防等、問題山積と思う。

（文責 早田 和彦）

【広報特別委員会】
委員長 早田 和彦
副委員長 丸小野聖一

委員 石松まゆ子
高田 孝徳
吉田 真二
議長 荒川 孝一